

【西区】令和8年第2回区づくり推進横浜市議員会議

令和8年6月11日(木) 15時30分開始
西区役所3B会議室

次 第

1 開 会

2 座長の選出

3 議 題

- (1) 令和8年度 西区運営方針について
- (2) 令和8年度 西区主要事業の進捗状況について
 - ア 「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の推進
 - イ 高齢者あんしん生活サポート事業
 - ウ 障害のある人も住みやすいまちづくり事業
 - エ 子育て支援の推進
 - オ 地域連携推進・回遊性向上事業
 - カ 商店街及び「まち」のにぎわい創出事業
 - キ スポーツ振興事業
 - ク 藤と季節の花がつながるまちづくり事業
 - ケ 西区 みんなでエコアクション！推進事業
 - コ 地域防災活動推進事業
 - サ 安心して暮らせるまちづくり推進事業
- (3) 西区に係る予算のすがた
- (4) 都市計画マスタープラン西区プランの改定
- (5) GREEN×EXPO 2027に向けた横浜駅周辺での美化・環境向上の取組

【参考】西区における開発動向等

4 会議報告書の作成

5 閉 会

令和8年度 西区 運営方針

I 基本目標

令和8年度は、「市民の実感」を最上位目標としてまとめた、「横浜市中期計画2026-2029」の初年度です。

市民の皆様の暮らしの意識や状態を定期的に把握、検証しながら「**つながりを大切に 誰もが にこやか しあわせに くらせるまち 西区**」に向けて取組を推進することにより、「市民生活の安心・安全×横浜の持続的な成長・発展」、そして、「明日をひらく都市」の実現につなげます。

さらに、西区では、地区の皆様が話し合い、つくりあげた「地区別計画」とその取組を応援する「区全体計画」で構成された区の総合的な計画「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画:愛称にこまちプラン)を策定しています。

令和8年度は「第5期にこまちプラン」が始まります。誰にとっても住みやすい西区を目指して、地域の皆様とともに計画を推進します。



各地区別計画と区全体計画▶
(計画期間:令和8年度~12年度)



そして、気候変動という地球規模の課題解決に向けた姿を世界に発信するGREEN×EXPO 2027(横浜グリーンエクスポ)がいよいよ令和9年3月に始まります。開幕に向け皆様と盛り上げるとともに、横浜の玄関口となる横浜駅とその周辺の美化・環境向上に取り組めます。



▲ 開幕に向けて皆様と一緒に盛り上げます

「**つながりを大切に 誰もが にこやか しあわせに くらせるまち 西区**」に向けて、以下の取組を推進します。

- | | | |
|---------------------|------------------------|----------------------------|
| ◆防犯情報の発信や啓発を強化 | ◆安心して子育てをするための支援 | ◆誰もが生き生きと暮らせるインクルーシブな社会の実現 |
| ◆日頃の備蓄や地域防災拠点の訓練を推進 | ◆住み慣れた地域で自分らしく生きるための支援 | ◆区のまちの将来像を示す西区プラン※の改定 他 |

※ 都市計画マスタープラン西区プラン(令和10年度改定)

令和8年度 西区 運営方針

Ⅱ 目標達成に向けた施策

1 地域のつながりづくり

- ◆第5期にこまちプランの推進
- ◆地域活動の支援と協働によるまちづくり
- ◆区内の大学・企業・団体と連携した、地域課題の解決



▲ にこまちフォーラム

2 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

- ◆こどもたちを健やかに育む子育て支援の推進
- ◆高齢者が自分らしく暮らし続けられる取組
- ◆障害のある人も住みやすい環境づくり
- ◆健康づくり啓発や健康情報の発信



▲ ふれあい作品展

3 まちの回遊性向上とにぎわいづくり

- ◆横浜グリーンエキスポの機運醸成と環境との共生
- ◆地域資源を活用した魅力発信
- ◆商店街等と連携した地域経済の活性化
- ◆地域のにぎわいと交流促進
- ◆まちの緑化を通じた地域のつながりづくり



▲ 横浜グリーンエキスポ機運醸成

4 安心・安全なまちづくり

- ◆地域・区本部の防災機能の強化と自助・共助の推進
- ◆防犯力の強化、交通安全対策の推進
- ◆清掃活動等を通じたきれいなまちづくりの推進
- ◆横浜駅周辺の美化・環境向上



▲ 地域防災拠点訓練(老松中学校)

Ⅲ 目標達成に向けた組織運営

1 お客様の立場に立った区民サービス

- ◆区民の皆様を笑顔とあいさつで温かくお迎え
- ◆傾聴を第一に、丁寧で分かりやすい説明
- ◆正確で的確なサービスの提供
- ◆伝わる広報の実施

2 つながりを生かした効果的な事業推進

- ◆地域・企業・団体との協働による地域課題の解決
- ◆区民ニーズの的確な把握
- ◆データ経営の推進
- ◆デジタルを活用した地域の負担軽減、連携強化
- ◆こどもたちの思いを受け止めた区政の推進

3 『チーム西区役所』の強化

- ◆人材育成や風通しのよい健康な職場づくり
- ◆協働、共創、チームイノベーションの創出
- ◆生成AI等の活用による業務効率化
- ◆複合化する課題に対し、各課の連携を強化
- ◆『チーム西区役所』としての総合力を発揮

1 地域のつながりづくり

第5期にこまちプランの推進

- ・5年後に向け地域や関係機関と一体的に計画を推進
- ・新規にPR動画を制作・発信
- ・地区別計画やこどもたちの発表等内容を充実※1
- ・実践的な題材を取り入れた講座の実施
- ・小・中学校への出前講座を実施。親世代の参加を促進



▲ にこまちプラン出前講座

※1 にこまちプランに掲げる地域の取組を、皆様にお知らせする「にこまちフォーラム」での内容充実

地域活動の支援と協働によるまちづくり

- ・自治会町内会、地域で活動する様々な団体と連携したまちづくり
- ・デジタルツールを活用した情報共有による地域の負担軽減・連携強化
- ・「のげやまインクルーシブ構想※2」の実現に向けた連携強化 ▲ みんなの食堂



※2 動物園・公園、中央図書館が集積する野毛山地区が、これまで以上に、誰もが分け隔てなく、学び、楽しみ、やすらげる場所となるよう、エリアコンセプトに基づきエリア全体で進めるまちづくり

区内の大学・企業・団体と連携した、地域課題の解決

- ・連携推進協定を締結している神奈川大学をはじめ、企業、団体との連携強化

神奈川大学×ヘルスメイト
ヘルスサポーター養成講座
(簡単朝食の調理実習)▶



2 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

こどもたちを健やかに育む子育て支援の推進

- ・出産前後の不安や孤立感の軽減・解消※3
- ・幼稚園・保育園や地域子育て支援拠点等による育児講座
- ・子育て家庭の手軽な情報取得を支援(パマトコ等)
- ・小学生の放課後に携わるクラブ職員を対象とした人材育成研修を実施
- ・小・中学生等を対象に「連れ去り防止教室」や「SNSトラブル防止教室」を実施



▲ パパクラス

※3 「プレパパママクラス」、「パパクラス」、抱っこ方法などを学ぶ「ぎゅっとレ」など

高齢者が自分らしく暮らし続けられる取組

- ・認知症に対する理解を深め、認知症があっても安心して暮らせる地域づくりと早期対応の機運づくり
- ・体力や生活の状態を振り返り、気軽に介護予防ができるきっかけづくり
- ・高齢期における社会参加等の重要性をSNS等で発信

障害のある人も住みやすい環境づくり

- ・イベントや講座、動画等を活用した災害時の配慮及び障害理解の促進
- ・「にしナビ」の改訂や生活体験事業等を通じ、障害のある人の生活選択を支援

健康づくり啓発や健康情報の発信

- ・生活習慣病の予防の取組、こども及び働き・子育て世代の健康づくり

野菜摂取量測定▶



3 まちの回遊性向上とにぎわいづくり

横浜グリーンエキスポの機運醸成と環境との共生

- ・横浜グリーンエキスポを様々な場面でPR
- ・環境に配慮した行動のきっかけとなるイベントの開催

みなとみらい21さくらフェスタで皆様と
横浜グリーンエキスポを盛り上げ▶



地域資源を活用した魅力発信

- ・区内の回遊を促進(まち歩きルート「温故知新のみち」の活用等)
- ・「西区今昔かるた」を活用したイベントによる西区の魅力発信

商店街等と連携した地域経済の活性化

- ・商店街への誘客促進、賑わいの創出(商店街を巡るスタンプラリー)
- ・商店街の魅力を市民目線で発掘・発信するフォトイベントの開催

地域のにぎわいと交流促進

- ・西区民まつりによる新たな関係づくり、地域の交流、活動の活性化
- ・地域の伝統文化に触れる機会の提供(西区虫の音を聞く会、横浜かもんやま能)
- ・年齢、障害の有無等に関わらず楽しめるインクルーシブスポーツ体験会の開催
- ・トップスポーツチームと連携した誰もがスポーツに親しめる機会の創出

まちの緑化を通じた地域のつながりづくり

- ・公園愛護会や学校の皆様と公園や学校への花植え
- ・藤の花をより身近に感じてもらう維持管理や講習会、SNS等によるPR

4 安心・安全なまちづくり

地域・区本部の防災機能の強化と自助・共助の推進

- ・新たな防災気象情報の運用開始等に伴う西区防災マップの更新
- ・小中学校(13校)に、避難所の開設状況等を掲示した「避難所案内板」の設置
- ・発災時の円滑な運営に向けた地域防災拠点の訓練(多様なニーズ対応)
- ・防災啓発の実施(赤ちゃん教室での防災講和、小中学生に向けたセミナー等)

防犯力の強化、交通安全対策の推進

- ・「西区トコパト(トコトコパトロール)」※4の開始・拡充
- ・子育て世代、単身高齢世帯ごとの特性に応じた犯罪被害事例等の発信

※4 ながら見守り「西区トコパト(トコトコパトロール)」とは、愛犬との散歩時に、
防犯パトロールの視点を持って地域を見守る活動



▲西区トコパトの活動(イメージ)

清掃活動等を通じたきれいなまちづくりの推進

- ・「ヨコハマ プラ5.3(ごみ)計画」の達成に向けた分別や削減等の啓発
- ・ポイ捨ての多いエリア・時期に路面標示啓発や清掃委託を実施

横浜駅周辺の美化・環境向上

- ・横浜グリーンエキスポで多くの人をお迎えする
横浜駅周辺の美化・環境向上を公民連携で実施



横浜駅西口・幸川の手すり装飾▶

【参考】区民の皆様に寄り添う区役所を目指して

総務課

「チーム西区」を笑顔でサポートします。快適で親しみやすい区役所づくり、災害対策の強化、選挙・統計調査を適正に執行します。生成AIの活用等 業務改善を進め、職員のワークライフバランスの充実につなげます。

区政推進課

分かりやすく「伝わる」情報発信を行い、皆様の声を地域課題の解決につなげます。また、横浜グリーンエキスポの機運醸成や脱炭素に向けた取組を推進しながら、魅力と活気あふれるまちづくりを進めます。

地域振興課

自治会・町内会や商店街をはじめとした地域の皆様に寄り添いながら、まちの魅力発信やにぎわいづくりを更に進めていきます。また、清潔できれいなまちづくりや安心・安全なまちづくりに取り組みます。

税務課

公平公正で適切な賦課業務を行うとともに市税収入の安定的な確保と税負担の公平性の実現のため、適切な徴収事務を進めます。区民の皆様に寄り添いながら、分かりやすく、丁寧に説明することを心掛けます。

区会計室

区民の皆様の信頼に応える、正確な会計経理事務を行います。また、窓口に来られた方や電話でのお問い合わせに対し、しっかりと聞いて、温かく丁寧に分かりやすい説明を心掛けます。

高齢・障害支援課

高齢者や障害のある方も自分らしく暮らせるよう、寄り添った支援や地域のつながりづくりを進めます。また、認知症や障害等への理解促進と介護予防の啓発を進め、誰もが住みやすいまちづくりを目指します。

こども家庭支援課

子育て家庭が地域で孤立することなく、つながりを大切にしながら、安心してこどもを産み育てられるように、一人ひとりにきめ細やかな支援をしていきます。こどもが心豊かで健やかに成長できるまちを目指します。

福祉保健課

地域の皆様や関係機関と連携し、新たにスタートする第5期「にこまちプラン」を推進するとともに、地区別計画の取組を支援します。また、関係団体と協力し、区民の皆様の主体的な健康づくりを推進します。

生活衛生課

食中毒・感染症対策、動物の適正飼育推進を通じ、区民の皆様や西区を訪れる人々の食の安全や暮らしの衛生を確保します。特に、主要駅周辺の飲食店や宿泊施設への衛生指導を重点的に実施します。

戸籍課

戸籍簿・住民基本台帳等の適正な管理を徹底するとともに、親切・丁寧にわかりやすい窓口対応を行います。また、マイナンバーカードを利用した手続の推進と円滑な交付・更新手続に取り組みます。

保険年金課

皆様が安心して医療・介護等を受けられるよう、国保・介護等の保険や、国民年金について、適切かつ迅速に業務を進めます。また、安定した制度運営のため、保険料収納率の向上を図ります。

生活支援課

日々の生活、仕事や住まいの不安や困りごとのご相談に寄り添い、さまざまな支援制度等をわかりやすくご案内します。また、こどもたちの将来の自立に向けて学習できる機会を提供するため、学習支援事業を行います。

西土木事務所

道路・下水道・公園の適切な維持管理と災害対応により、区民の安全・安心な暮らしを守ります。また、公園愛護会活動等の支援や藤の花再生にも取り組み、潤いと安らぎを感じられるまちづくりを進めます。

南浅間保育園

こども一人ひとりを尊重し、豊かな人間性を育む保育を行います。区内唯一の公立保育園として、様々な機関や地域の皆様とのつながりを大切に、育児支援事業を進め、区全体の保育の質の向上を目指します。

「チーム西区役所」は
資源循環局 西事務所、西消防署、
中央図書館等とも連携！
地域の皆様と一緒に課題解決に
取り組みます！

西区のマスコットキャラクター
「にしまろちゃん」



3－(2) 令和8年度 西区主要事業の進捗状況

地域のつながりづくり

ア 「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の推進 (福祉保健課)
【予算額 2,844千円(対前年度比 1,552千円減)】

西区では、「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画、愛称：にこまちプラン)を西区の総合的な計画と位置づけ、区役所全体で取り組むとともに、地域の様々な活動を支援することで、住民同士の「顔の見える関係づくり」や、地域課題の解決に住民が取り組む機運を高めることを目指しています。

令和8年度は、第5期計画(令和8～12年度)がスタートします。計画策定で育まれたつながりや機運を活かし、5年後に目指す姿を見据え、地域や関係機関と一体となって、計画を力強く推進します。また、第5期にこまちプランを区民の皆様に広く知っていただくため、積極的な情報発信・プロモーションを行い、認知度向上を図ります。

(1) 「にこまちプラン」の推進等(2,844千円)【拡充】

① 「第5期にこまちプラン(西区地域福祉保健計画)」 の推進

「区全体計画」については、引き続き区役所一丸となってプロジェクトチームを編成し、課横断的な課題にもチームで取り組みます。また、福祉保健分野に精通したアドバイザーの助言のほか、各分野の代表者で構成された「推進評価委員会」(令和8年秋実施予定)での意見等を踏まえ推進していきます。

「地区別計画」についても、みなとみらい地区を含め全7地区でスタートを切りました。地域における様々な課題の解決に向けて、引き続き、区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザによる地区支援チームが連携し、地域の取組を支援していきます。

■参考：第29回 西区地域福祉保健計画推進・評価委員会
【開催日】令和8年1月16日
【会場】西区役所3階AB会議室
【内容】第5期西区地域福祉保健計画(にこまちプラン)区全体計画の確定(意見交換)等



推進評価委員会



地区別計画の検討

② 「第5期にこまちプラン（西区地域福祉保健計画）」

の広報・啓発

広報よこはまの特集やオリジナルノートなどの啓発ノベルティの配布に加え、スタートの勢いを加速させるため、新規PR動画を制作し、積極的に発信して「にこまちプラン」の認知度を高めます。

また、「にこまちプラン」の普及啓発、地域活動の情報共有などを目的として「にこまちフォーラム」を開催し、地区別計画やこどもたちの取組発表などを通じて活動の充実につなげます。このほか、地域活動のヒントとなる実践的な題材を取り入れ、担い手の意欲を高める「にこまち講座」（12月実施予定）を開催します。

加えて、小・中学校への出前講座を実施する（戸部小学校：5月8日実施ほか）など、引き続き「こども向け啓発」を進め、こどもたちやその親世代（現役世代）の参加意識を醸成し、新たな担い手の発掘・育成につなげます。



令和7年度「にこまちフォーラム」



こども向け啓発（小学校出前講座）

■参考：令和7年度「にこまちフォーラム」

【開催日】 令和8年2月21日

【会 場】 西公会堂

【内 容】

第1部 第5期にこまちプラン発表

- ・第4期計画の成果
- ・第5期区全体計画
- ・第5期地区別計画（全7地区）

第2部 こどもたちの取組発表

宮谷小学校、戸部小学校から計4クラスの発表

スペシャルゲストトークセッション

フィナーレ「にこまちの歌」合唱

【参加者数】 満席 480名



オリジナル啓発ノベルティ
ノート・ハンドタオル（令和7年度）

いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

イ 高齢者あんしん生活サポート事業

(高齢・障害支援課)

【予算額 2,923千円(対前年度比 59千円増)】

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、「横浜型地域包括ケアシステム構築に向けた西区アクションプラン」に基づき、「地域包括ケアシステム推進事業」「認知症等高齢者支援事業」「健康づくり・介護予防事業」の取組を推進します。

(1) 地域包括ケアシステム推進事業(991千円)

① 啓発キャンペーンの実施

期間を定め、「在宅医療・介護連携」「生活支援・社会参加の充実」「介護予防」「認知症対策」の推進に関する関係機関や区役所等の取組を一体的にPRするとともに、パネル展を通して、地域包括ケアシステムを広く周知します。また、オンラインツール等を活用した広報により、関心が希薄な方々へPRしていきます。(11月～)

② 地域ケア会議の充実

地域包括ケアシステムの構築に向けた区レベル・地域包括支援センターレベル会議の充実を図るため、地域課題の抽出から課題解決につなげるためのアドバイザー派遣や、有識者の講師を招聘します。

(2) 認知症等高齢者支援事業(1,054千円)

① 軽度認知障害(MCI)・認知症の理解、早期対応の機会づくりの促進

認知症の理解と早期対応の機運を高めるため、区民が気軽に脳の健康チェックができる機会をつくるとともに、予防につながる活動を推進し、必要な方にはもの忘れ検診等の支援につなげます(通年)。

軽度認知障害と診断された方に対し、認知症予防のポイントと予防につながる活動ができる地域の居場所について紹介したリーフレットを、地域包括支援センターや医療機関等の関係機関と連携し、配布します。(通年) また、軽度認知障害や認知症初期と診断された方の診断後支援の一環として、重症化予防に効果がある運動に取り組める機会づくりを行うとともに(6月～)、運動に関する動画を作成し(9月)、診断された方の支援に活かします。

② 認知症サポーター養成講座・普及啓発人材育成研修の実施(健康福祉局 区配事業含む)

認知症に優しいまちづくりを進めるため、引き続き、地域住民、学校や企業等の要請に応じ、認知症サポーター養成講座を実施します。(通年)

また、認知症キャラバン・メイト(登録者数196名)等に向けて人材育成研修を交流会と合わせて実施し、地域における自主的活動につながるよう支援します。(7月1日、2月予定)

(3) 健康づくり・介護予防事業(878千円)

① 「ころばんよ体操」を活用した健康づくり

4つの効果(ロコモティブシンドローム・メタボリックシンドローム・認知症予防、オーラルフレイル予防)がある西区のご当地体操「ころばんよ体操～パタカラバージョン～」と、後期高齢者や障害者でも取り組みやすい「ころばんよ体操～Part 2～」を活用し、区民の健康づくりや地域における自主的な活動の活性化に努めます。(通年)



ころばんよ体操
～パタカラバージョン～

② 介護予防普及啓発の実施

(健康福祉局 区配事業含む)

西区の健康課題であるフレイル予防の重要性を啓発するため、フレイル予防と認知症予防のための運動(筋力トレーニング)をテーマとし、総合能力研究所の健康運動指導士による講演会を開催します。(6月12日予定)。

地域における介護予防活動のリーダーとなる「げんき活動応援団」(登録者数18名)や地域の通いの場の参加者等を対象としたスキルアップ研修を開催(全4回コース)し、地域におけるフレイル予防活動の充実を図ります。



令和7年度介護予防講演会の様子

■令和8年度 介護予防講演会

「あなたの未来を変える 脳と身体の本山式筋トレ講座」

【講師】総合能力研究所所長 本山 輝幸 氏

【開催日】令和8年6月12日(金) 西公会堂 1号会議室

【対象者】西区在住・在勤の方 【定員】先着70名

③ 介護予防リーフレットの配布

地域における介護予防に関する自主的活動の場や健康づくりの取組等を紹介するリーフレットを配布し、地域における介護予防等を促進します。(通年)



「西区お元気活動応援マップ」
西区内の介護予防に関する取組の紹介

障害のある人が住み慣れた地域で安心して生活できるように、障害に対する理解を深める啓発活動や、電源を要する医療的ケアが必要な在宅障害児・者等への災害対策、障害者が自ら望む生活の選択や居住確保に向けた支援をしながら、障害のある人も住みやすいまちづくりを目指します。

(1) 障害のある人に対する理解を深めるための啓発・PR事業(3,457千円)

イベントや広報印刷物等、様々な機会を通じて啓発活動を行っていきます。

① 地域防災拠点訓練での啓発

地域防災拠点訓練等の参加者に、障害者が避難してきた際の配慮等について、ミニ講座などで啓発していきます。(3か所程度)

■参考：令和7年度地域防災拠点訓練等での障害啓発

【実施日・場所】9月7日 西前小学校 参加者：178名
9月7日 老松中学校 参加者：58名



令和7年度地域防災拠点訓練

② 障害理解促進のためのイベント企画

障害者施設の利用者等が制作した作品の展示や事業所製品の販売を、区内障害者施設等で行います。

障害者地域活動支援センターが障害者と地域住民等との日常的なふれあいの場となるよう相互に協力するとともに、適正な運営支援を行います。(通年)

地域活動ホーム等の関係機関と連携して、障害のある方と地域住民とがつながりをもてるイベントやPRを実施していきます。(通年)

■参考：令和7年度西区ふれあい作品展

【実施日】令和8年1月9日(金)～1月15日(木)

【場所】神奈川大学みなとみらいキャンパス・café アニミ

■参考：令和7年度西区防災フェスタ

【実施日】令和8年3月20日(金・祝)

【場所】生活創造空間にし 【来場者】約200名



令和7年度西区ふれあい作品展
(神奈川大学みなとみらいキャンパス
エントランスホール)



令和7年度西区防災フェスタ

③ 地域住民への啓発

障害理解を深める啓発活動として、障害者施設紹介リーフレット「西区style」等を活用し、あらゆる機会をとらえてPRを進めます。(通年)



障害施設紹介リーフレット「西区 Style」

(2) 電源を要する医療的ケアが必要な在宅障害児・者等への災害対策(517千円)

人工呼吸器や吸引器などの電源を要する医療機器を日常的に使用している方が災害時に向けた備えを進められるよう支援を行います。

① 災害時個別支援計画(「わたしの災害対策ファイル」)の作成支援

災害時を想定し日頃からの備えとして、行動手順や医療情報をまとめた「わたしの災害対策ファイル」を区内訪問看護ステーションと連携し、対象者への配付と計画の作成支援を行います。(通年)



わたしの災害対策ファイル

② 福祉避難所と連携したガス式発電機稼働訓練の実施

長時間に渡る停電時に備え、臨時的に充電ができる場所として、区内の福祉避難所6カ所に発電機を設置しています。発災時に速やかに対応できるよう、福祉避難所で機器点検・稼働訓練を実施します。(通年、6か所)

③ 地域防災拠点(指定避難所)への対応

電源を要する医療機器を使用している方が災害時に充電できるように、令和5年度から地域防災拠点に発電機を配付して医療用充電ステーションとして整備しています。12か所の地域防災拠点のうち年間3ヶ所ずつ配付しており、令和8年度末には12拠点への配付を完了する予定です。



医療用充電ステーション用発電機

■参考:医療用充電ステーション用発電機配付済み地域防災拠点(令和8年3月末)

一本松小学校、軽井沢中学校、老松中学校、戸部小学校、
稲荷台小学校、浅間台小学校、西前小学校、宮谷小学校、
平沼小学校

(3) 障害者の地域生活支援事業(569千円)

障害者に対する地域生活支援の検討にあたり、必要とされるニーズの把握及び、障害者が地域の中で安心した生活を送るための企画・検討を行います。(通年)

また、障害者の地域移行や一人暮らしを円滑に進めるため、区内で一人暮らし体験ができる施設や体験事業を紹介するリーフレット「じぶんらしく、にしく」

(令和5年度作成)を障害当事者やその家族、支援機関等に広く配布し理解を促進します。(通年)

区内障害者通所施設利用案内冊子「にしナビ」を改訂し障害当事者及び家族の相談に配付します。基幹相談センター、生活支援センターでの活用も進めます。(通年)



障害者通所施設利用案内「にしナビ」

エ 子育て支援の推進

(こども家庭支援課)

(西区子育て支援事業、地域の力を生かしたスクールサポート事業、西区の保育施設つながり事業)

【予算額 7,004千円(対前年度比 197千円増)】

西区は他区に比べ、出生数に占める第1子の割合や35歳以上で出産する人の割合、転入・転出者の割合が高いことを踏まえ、子育て家庭が地域で孤立することなく安心してこどもを産み育てられるよう、プレパパママクラスや赤ちゃん教室などを実施し、地域とのつながりを大切にしながらこどもの健やかな育ちを応援します。

(1) 西区子育て支援事業(4,714千円)【拡充】

① プレパパママクラス

妊娠7～9か月の妊婦とそのパートナーを対象に、妊娠・出産・子育てに関する基礎知識を学ぶ「プレパパママクラス」を区役所及び地域子育て支援拠点で開催します。参加ニーズの高い、沐浴・おむつ交換などの体験を行う講座や夫婦間のコミュニケーションに関する講義は、引き続き休日にも開催します。(区役所：年6回、地域子育て支援拠点(委託)：年6回)

※5月9日(土)実施：12組参加(会場：スマイル・ポート(委託))

5月23日(土)実施：20組参加(会場：区役所)



プレパパママクラス

② パパクラス～プレパパとほやほやパパの会～

生後1～4か月未満の第一子と父親、妊娠7か月以降の初産婦のパートナーを対象に、こどもの成長発達や母親の産前産後の心身の変化について学び、父親同士の交流を行う「パパクラス」を、育休中の父親が参加しやすいよう、通年で昨年度から回数を増やして開催します。(年4回)

プレパパママクラスやパパクラスにより、親になる前後の支援を充実させ、赤ちゃんの誕生を父母がともに安心して迎え入れ、一緒にこどもを育てることの大切さを学ぶ機会としていきます。

※5月27日(水)実施：5組参加



パパクラス

③ これで抱っこがしたくなる! 「ぎゅっトレ」

母子訪問や乳幼児健診などで、安全な抱っこの仕方や赤ちゃんとの外出の仕方が分からず、子育てに不安を感じているという相談が増えています。そのため、生後1～5か月未満の第一子とその家族を対象に、安全な抱っこの方法や抱っこ紐の使い方を学ぶ講座を開催します。(年6回)

講座では、乳幼児期に利用しやすい外出先などの情報提供も行い、教室終了後に親子で地域子育て支援拠点や子育てサロン等を訪れることができるよう支援します。また、子育て支援を行う機関等の紹介を行うことにより、子育てで困ったときに気軽に相談できる場所や人が身近に存在することを知ってもらい、不安や孤立感の軽減・解消につなげます。

※4月3日(金)実施：5組参加

④ 赤ちゃん教室

0歳児とその家族や妊娠5か月以上の妊婦を対象に、子育てに関する情報交換や仲間づくりを目的に、地域の方の協力もいただきながら、区内9会場で実施します（年10回×9会場）。

様々なプログラム（歯みがき、離乳食、親子遊び、こどもの救急蘇生法と事故予防、防災）により、初めての子育てをサポートします。

※4・5月実績：15回実施 53組参加



赤ちゃん教室

⑤ 中学校いのちの教室

西区を主な通学区域とする市立中学校（全5校）の中学生を対象に、専門職による性教育等を通じ、性に関する正確な知識と情報を提供するとともに、「命の大切さ」を伝えることを目的として、「中学校いのちの教室」を実施します。教室では、地域の子育て世帯との交流や妊婦体験などを取り入れ、中学生が「自分も大切な存在である」と実感し、今後の人生において主体的に意思決定する力を育むことを目指します。実施にあたっては、地域子育て支援拠点や主任児童委員、PTA等に協力を依頼し、地域の子育てサロン等を通じて中学生と子育て世帯との交流機会を創出します。中学生が、世代間交流を通じて多様な価値観に触れ、社会性を身につけるとともに、地域への愛着を深め、将来的な社会参加への意欲を高める機会としていきます。

⑥ その他の子育て支援の推進

子育て応援ガイドや保育施設等一覧の作成により子育て情報の発信・提供などを行います。

また、「パマトコ」等を通じて、子育て世帯がより手軽に情報を得られるよう取り組んでいます。



表紙



中面（抜粋）

子育てガイド（西区子育て航海図）

(2) 地域の力を生かしたスクールサポート事業(1,590千円)【拡充】

こどもたちの安全で健やかな日常の確保を目的として、小・中学生を対象に危機管理教室を実施するとともに、新小学1年生に防犯ブザーを配布します。危機管理教室では、SNSでのトラブル防止や低学年向けの連れ去り防止のプログラムに加え、こども同士の関わりの中で生じるトラブルへの対処法を学ぶプログラムを新たに導入します。

さらに、安全・安心で生き生きと過ごせる放課後の居場所の推進に向け、放課後キッズクラブや放課後児童クラブの職員を対象とした人材育成研修を実施します。

※危機管理教室：5～11月に希望する小・中学校で実施予定

人材育成研修：10～12月に実施予定



危機管理教室
(連れ去り防止
プログラム)



人材育成研修

(3) 西区の保育施設つながり事業(700千円)

区内の子育て関連施設が連携して、各地区に出向き、育児講座を開催します。また、保育の質の更なる向上に向け、保育施設を対象とした研修を実施します。

さらに、西区唯一の市立保育所である南浅間保育園において、地域の親子に向けた子育て支援事業を実施します。

※出前合同育児講座 5～11月に全10回実施予定

保育の質向上に向けた研修 年1回開催予定



地域の親子に向けた育児支援の様子

まちの回遊性向上とにぎわいづくり

オ 地域連携推進・回遊性向上事業

(区政推進課)

【予算額 8,827千円(対前年度比 1,681千円増)】

区民・企業・団体の皆様と連携協働しながら、地域資源を活用した区内の回遊性向上を図るとともに、GREEN×EXPO 2027（横浜グリーンエクスポ）の開催や環境に配慮したライフスタイル等の機運を醸成します。また、地域で活動する様々な団体等と連携し、地域の主体的な取組を支援するとともに、身近な地域課題の解決に取り組めます。

(1) 地域資源を活用した回遊性向上・まちづくり推進事業(4,795千円)【拡充】

にしく緑花サポーター制度の推進や、横浜グリーンエクスポの機運醸成、横浜駅の美化・環境向上の推進、「温故知新のみち」を活用した区内の魅力資源の周知・発信及び都市計画マスタープラン西区プランの改定作業を進めます。

① 地域資源を活用した花と緑のまちづくりの推進

「にしく緑花サポーター」登録団体等への花苗等の配布を通じて、花と緑のまちづくりを推進します。

また、「ガーデンネックレス横浜」事業と連携し区内の回遊性を高めるほか、脱炭素化の取組を加速化させていくためにも、横浜グリーンエクスポの開催に向けて区の来場意欲の醸成を図ります。

■参考：にしく緑花サポーター

【開始年度】令和3年度

【対象】花壇等において緑化に取り組む区内の小中学校や公共施設等

【登録数】32か所(令和8年5月末時点)

〈内訳〉保育園、小・中学校：16か所

公共施設等：16か所



横浜グリーンエクスポのPRの様子



にしく緑花サポーターを通じた花植えの様子

② 横浜駅西口周辺での公民連携による美化・環境向上の推進

横浜グリーンエクスポに向け、来街者の増加が見込まれる横浜の玄関口である横浜駅周辺において、美化・環境向上に取り組めます。地域と事業者及び行政の協働で行っている「きれいなまちづくり検討会(※1)」が、より具体的な取組ができるよう必要な経費を支援します。

(※1)「きれいなまちづくり検討会」構成員：南幸自治会、横浜駅西口商店会連合会（横浜駅西口五番街商店会協同組合・横浜西口商和会商店街・西口幸栄商店会）、南幸安全安心まちづくり協議会、一般社団法人横浜西口エリアマネジメント、資源循環局、都市整備局、西区

③ まち歩きルートの啓発等

まち歩きルート「温故知新のみち」(全3ルート)を活用し、区内の魅力資源を周知・発信し、区内の回遊性向上を図ります。また、区内に設置している案内サインについて維持管理を行います。



「温故知新のみち」散策マップ



総合案内サイン

④ 都市計画マスタープラン西区プランの改定

令和7年に改定した都市計画マスタープラン全市プランをふまえ、区ごとに作成している区プランの改定作業を進めていきます。

■参考：改定スケジュール（予定）

令和8年度：素案作成・地域ヒアリング、令和9年度：素案公表・原案作成、令和10年度：策定

(2) 西区環境行動推進事業(3,070千円)【拡充】

区民・企業・学校・行政の各主体が相互に連携・協力し、環境に配慮した具体的な行動の定着に向けた取組を実施します。

① 環境行動推進の取組

脱炭素など環境に配慮した具体的取組やSDGs達成に向けた取組を行うきっかけとして、若年層をターゲットとした参加型取組「にしくSDGsチャレンジ」(8～11月頃)等を実施します。

② 区内におけるSDGs達成に向けた機運醸成

若い世代が中心となって区内の環境配慮行動やSDGs達成に向けた取組を進める機運醸成を図るため、区内企業・団体等と連携しながら、次世代が作成した、SDGsに関する作品のパネル展を開催します。

■参考：「にしくSDGsパネル展」(令和7年度)

【実施期間】令和8年1月8日～令和8年3月10日

【事業概要】西区の若い世代が作成した絵画などの作品を展示

【会場】市庁舎及び区内3会場にて巡回展示

【参加校】小学校7校 【作品数】42点



令和7年度「にしくSDGsパネル展」チラシ

(3) 地域連携交流事業(962千円)

「にこまちプラン」の推進に向けて、地域支援の拡充と地域人材の発掘・育成を図るため、地域活動の支援を行うほか、まちづくりアドバイザーを派遣します。

また、地域と行政間のコミュニケーション手段として、デジタルツールの試行的な活用を継続します。引き続き、包括連携協定を締結した神奈川大学との連携強化を図ります。

① 地域活動の魅力を発信する動画制作

地域活動への理解と参加者の増加を目的に、横浜デザイン学院と連携し、西区内の地域活動紹介動画を制作します。制作した動画は、西区WebサイトやSNS等にて発信し、関心・興味を持ってもらえるよう、幅広く周知を行います。

② 西区まちづくりアドバイザー派遣

地域が実施するまちづくり活動の企画・運営に対し、専門的な立場から助言を行い、地域の自主的活動を支援するために、まちづくりアドバイザーを派遣します。

③ 地域と行政の情報共有プラットフォームの試行

主に自治会町内会と西区でデジタルツール(LINEWORKS等のアプリ)を活用した情報共有を行い、地域の負担軽減・連携強化を図ります。

④ 神奈川大学との連携

神奈川大学との包括連携協定に基づき、地域の課題解決やSDGsの推進など新たな展開が創り出せるよう、具体的な取組についての協議を進めていきます。

■参考：神奈川大学との連携例

令和8年度予定：

①神奈川大学みなとみらいキャンパスホップ栽培プロジェクト
(5月～12月)

令和7年度の主な実績：

①ヘルスサポーター養成を通じた地域をつなぐプロジェクト
(11月)

②西区在住シニア層へのインタビュー実習にシニアを派遣協力



参考：ヘルスサポーターの養成
(ヘルスメイトと学生で調理中)

商店街活性化と誘客促進を進めると同時に、周辺の地域資源の魅力を情報発信することで“まちのにぎわい”を創出します。

(1) 西区商店街スタンプラリー事業(2,145千円)

商店街へ実際に足を運ぶきっかけづくりを目的とした「商店街を巡るスタンプラリー」を開催し、商店街への誘客促進を図り、併せて、まちの賑わい創出につなげます。

事業実施にあたっては、開催期間等を含め、西区商店街組合連合会と連携して進めます。(10月～11月実施予定)

■参考：令和7年度実施内容

事業名：西区商店街スタンプラリー

実施期間：10月1日(水)～11月30日(日)

対象店舗数：12商店会145店舗

応募件数：2,170件(総スタンプ数：5,023個)

【参加者からの主な声】

- ・いつもは通り過ぎてしまう商店街で初めて買い物をしました。また買い物に来たいです。
- ・スタンプを集めようと購買意欲が増えていつもよりたくさん買い物してしまいました！
- ・デジタルスタンプラリーは、手軽に楽しめて良かったです。

【商店会からの主な声】

- ・商店街の賑わいづくりにつながっていると感じる。
- ・プレミアム商品券の期間と重なったことで、相乗効果により客足が伸びた。今後もぜひ引き続き実施してほしい。



スタンプラリー冊子(令和7年度)



デジタルスタンプラリー

〔専用アプリ不要。二次元コードからスタンプを獲得すると、応募可能。〕

(2) 西区情報発信事業(670千円)

西区内の商店街の様々な魅力を市民目線で発掘・発信していただく機会として、フォトイベントを開催します。商店街にまつわる写真を募集し、撮影のために商店街を訪れる機会を増やすことで商店街の活性化を図り、まちの賑わいづくりにつなげます。また、昨年度入賞作品のパネル展示を区役所(区民ホール)で実施しました(4月)。

■令和8年度実施概要(予定)

事業名：西区商店街フォトコンテスト

募集期間：8月～11月

募集テーマ：あなたの一枚で届ける、西区商店街の魅力

応募資格：西区商店街に愛着のある方なら誰でも



西区商店街フォトコンテスト
最優秀賞受賞作品(令和7年度)

【予算額 4,339千円(前年度同額)】

区民が様々なスポーツを体験する機会を創出し、各種競技への理解・関心を高めます。

また、インクルーシブスポーツ理解促進のための体験会の開催やウォーキングイベントの開催により、子どもから高齢者まで幅広い年齢層がスポーツを通じて地域に愛着を持つ機会を創出します。

(1) トップスポーツチームとの連携 (180千円)

横浜市のトップスポーツクラブと連携し、「区民DAY」の開催や小中学校等への出前授業を実施することで、区民へのプロスポーツを体験する機会を創出し、スポーツへの関心を高めます。

① 区民DAYの開催

【横浜ビー・コルセアーズ (バスケットボール)】

ホームゲーム 招待 (50組100名)

開催日: 5月2日 (日)

場 所: 横浜BUNTAI

来場者: 85名 (全体来場者4,890名)

【横浜FC (サッカー)】 ※百年構想リーグ

ホームゲーム招待 (1,000名)・優待

開催日: 5月2日 (日)

場 所: ニッパツ三ツ沢球技場

来場者: 380名 (西区・南区・戸塚区合計)
(全体来場者5,106名)



©B-CORSAIRS

5/2 西区応援 DAY
(横浜ビー・コルセアーズ)

■ 今後予定事業

【横浜エクセレンス (バスケットボール)】

開催日: 令和9年2月5日 (金)・6日 (土)

場 所: 横浜武道館

対象者: 調整中

② 出前授業の実施

【横浜ビー・コルセアーズ】

対 象: 区内小学校

内 容: 職業講話、出前授業

(バスケットボール、チアダンス)

【横浜エクセレンス】

対 象: 区内小学校

内 容: バスケットボール教室、体験型プログラム



©B-CORSAIRS

出前授業の実施 (東小学校)
(横浜ビー・コルセアーズ)
(令和7年度)

(2) **インクルーシブスポーツの推進 (1,184千円)**

インクルーシブスポーツ等の体験会を実施し、各種競技への関心や理解、競技団体等との交流を深める機会を創出します。

開催予定日：令和8年11月1日（日）

開催場所：西前小学校体育館

■参考：令和7年度実績

【開催日】令和7年11月2日 西前小学校体育館

【参加者数】1,132人（延べ人数）

（種目別参加者数）バグギー：440人

風船バレー：392人

車いすバスケットボール体験：142人

展示コーナー：158人

【協力団体】横浜市スポーツ協会、神奈川VANGUARDS、
さわやかスポーツ普及委員、西区スポーツ協会、
ラポール上大岡、横浜市パラスポーツ指導者協
議会（バセル）、横浜市スポーツボランティア
センター、学校法人岩崎学園



車いすバスケットボール体験の様子
（令和7年度）

(3) **西区ハマのウォーキングフェスティバル(2,200千円)**

区民の健康づくりと西区の魅力再発見を目的として、
「西区ハマのウォーキングフェスティバル実行委員会」の
主催により、第20回目のウォーキングフェスティバルを令
和8年11月29日（日）に実施します。

■参考：第19回西区ハマのウォーキングフェスティバル

【開催日】令和7年11月30日

【参加者数】1,008人

【コース】東海道コース(約7.4km)

横浜道コース(約6km)



ゴール会場(臨港パーク)
（令和7年度）

(4) **区民スポーツ振興事業、区青少年活動推進事業(775千円)**

西区スポーツ協会、青少年育成団体等へ補助金を交付し、活動を支援します。

西土木事務所管理の10公園には藤棚が設けられているなど、区内には町名にも使われている「藤」の木が多く、西区の地域資産となっています。公園内にある藤棚については、再生に向けた適切な維持管理は継続しつつ、ご家庭等でも育てられる鉢植え藤（一才藤）に関する管理講習会を開催することで、区民の方に「藤」をより身近に感じてもらえるような取組を推進します。

また、西区では市街化の進展に伴い、区内に残された大規模な公園や緑地、身近にある公園という存在が、区民にとって緑を感じることでできる貴重な場となっています。花壇を有する区内の公園に対し、季節感のある花苗の提供や協働での植え付け作業を行うことで地域のつながりを形成しつつ、「公園のまちヨコハマ」を推進し、GREEN×EXPO 2027の機運醸成を図ります。

(1) 藤の花再生・拡充の推進(2,500千円)【拡充】

① 公園藤棚の再生・維持管理

藤棚において、花を一面に咲かせるには適切な維持管理が必要で、中でもツルの誘引、花芽を意識した冬の剪定は開花に必要な重要な作業となります。土木事務所における日常的な藤棚の維持管理は継続しつつ、剪定等の藤の開花に重要な作業については、専門家による剪定の箇所数や回数を増やすなど、公園藤棚の再生を図っていきます。(通年)

② 専門家による鉢植え藤の管理講習会

より身近に藤を感じてもらえるよう、鉢植えでも生育が可能で、幼木のうちから開花する性質を持つ藤（一才藤）の普及啓発を図ります。

区民の方へ藤の魅力を伝えるため、藤の専門家による鉢植え藤の育て方・管理方法等について学ぶことができる講習会を開催します。(2月開催予定)

■参考：令和7年度講習会 2月19日開催

定員10名(応募：25名)

③ 藤に関連した取組の情報発信

「藤の花再生プロジェクト」の取組に絡め、公園藤を含めた区内の藤棚スポットのPRやその他の藤に関連した取組について、X(旧Twitter)やホームページ等を活用して随時情報発信を行います。(通年)

また、今春は浜松町公園の藤棚開花状況を定点観測し、WEB上に常時公開する取組を試行実施しました。



戸部公園藤棚 開花の様子



鉢植え藤（一才藤）管理講習会



浜松町公園藤棚 定点観測画像

(2) 公園・施設等の緑化推進(3,300千円)

① 花苗・球根の購入・提供と花苗植えの協働実施

区内34公園において花苗や球根の提供を行いつつ、公園愛護会や地域の子どもたち等にも参加してもらう形で協働による花苗植えを行います。

また、季節の移り変わりを感じてもらえる花苗等の選定に加え、宿根草を組み合わせることで植替え時の手間や費用を抑える持続可能な取組としていきます。(年2回、34公園)



公園での花苗植えの様子

安全・安心なまちづくり

ケ 西区 みんなでエコアクション！推進事業

(地域振興課)

【予算額 4,499千円(前年度比 648千円増)】

横浜市一般廃棄物処理基本計画に基づき、ごみの資源化・減量化啓発事業の実施や地域清掃の支援により、ごみの減量・3R意識の向上と地域美化の進展を引き続き目指していきます。

新たな処理基本計画「ヨコハマ プラ5.3 (ごみ) 計画」が策定され、脱炭素社会の実現に向け、令和7年4月からのプラスチックごみの分別ルール変更や使い捨てプラスチックの削減(リデュース)などに取り組み、身近な脱炭素への取組を各家庭で取り組んでいただけるよう、丁寧に呼びかけていきます。

また、対面を中心とした環境学習の実施や区民・企業等と連携した地域清掃活動を展開し、豊かな地球環境を次世代に残すため事業効果の最大化を図ります。

さらに、GREEN×EXPO 2027開催に向け首都圏有数のターミナルである横浜駅周辺地区をはじめとして、きれいな街づくりを推進し、美化・清掃活動を積極的に行います。

(1) 環境に配慮した行動推進事業(1,165千円)

① ごみの減量・リサイクルの推進、ごみの発生抑制、食品ロス・手つかず食品の削減、プラスチック削減

環境行動推進本部総会及び西区環境行動功労者表彰を実施し、3Rの推進に功労のあった個人又は団体に対し表彰を実施します。

■参考 R7年度 個人11名、団体3名



令和7年度 表彰式の様子

世界的な課題となっているプラスチック問題を幅広く関心を持ってもらうため、フードロス・プラスチック削減イベント時に環境負荷を抑えた製品やプラスチック代替素材を原料とした啓発物品を使用します。

企業と協働して実施する店頭啓発では、環境問題を身近な事を感じてもらうため、親子で楽しみながら学べるワークショップを開催します。

■参考 R7年度店頭啓発実施回数 6回



プラスチックフリー啓発物品の例

デジタルサイネージを活用した啓発では企業と連携し、フードロス問題と区民の関心の高い防災を絡めることなどにより、効果的な啓発を引き続き実施していきます。

■参考 無印良品 NEWoMan YOKOHAMA店



デジタルサイネージを活用した視認啓発の例

② 啓発や環境学習の推進

小学生を対象とした環境学習では(公財)横浜市資源循環公社と連携したリサイクル講座の実施。

講座では座学以外にも体験的要素を取り入れ関心をひくことで、児童のリサイクルに対する理解度を高めています。

分別ルールの変更なども取り入れ、子育て世代をターゲットに分別ルール変更の認知度向上にも取り組みます。

■参考 R7 実施回数 7 校



リサイクル講座（エコキャンドル作り）の様子
（一本松小学校放課後キッズクラブ）

(2) 清潔で美しい街づくり推進事業（3,334千円）【拡充】

① 地域清掃活動の支援

- ・自治会・町内会へ清掃用具の配布。(希望調書：4月、8月配布)
- ・区内の高校・企業と連携し、横浜駅西口周辺地区の清掃・組成調査を行う地域貢献清掃活動の支援。
- ・企業・団体等による清掃活動（WELCOME YOKOHAMA CLEAN SUPPORTER 令和8年3月末：87団体）の支援と、横浜駅周辺での大規模清掃活動「横浜駅をきれいに！」キャンペーンの他、区局が連携した行政による清掃活動を引き続き実施します。



横浜平沼高校生徒による清掃活動

② きれいな街づくりの推進

- ・地域・事業者・行政で立ち上げた検討会にて、地域課題の吸い上げや、ポイ捨ての多いエリア・時期に路面標示啓発や清掃委託を実施することで、街の美化・環境改善の拡充を図ります。
- ・GREEN×EXPO 2027に向け、多くの来街者で賑わう横浜駅西口のきれいな街づくりの推進のため、スマートごみ箱設置事業者へ補助金を交付し、支援を行います。

※スマートごみ箱とは、IoT（Internet of Things）技術を活用した次世代型ごみ箱のことです。



「横浜駅をきれいに！」キャンペーン



スマートごみ箱「SmaGO」

コ 地域防災活動推進事業

(総務課)(福祉保健課)

【予算額 13,035千円(対前年度比 7,250千円減)】

西区の「安全・安心なまちづくり」を進めるため、地域防災拠点への支援や関係機関と連携した区本部の防災訓練等を通じて、防災機能を強化します。

また、防災講話やイベント開催のほか、避難所案内板の設置や西区防災マップの更新等を通じて区民への啓発を進め、自助・共助の推進を図ります。

(1) 地域防災拠点の機能強化(850千円)

円滑な避難所運営及び多様な避難者対応への支援

発災時に地域防災拠点(以下、「拠点」)を円滑に運営できるよう、運営委員及び地域住民に対し、拠点訓練を通じて運営方法の理解を深め、体制の強化に努めます(実施回数：各拠点1～2回/年、実施時期：通年)。

また、拠点運営を支障なく行えるよう、資機材や備蓄品の適正な維持管理に努めます。

さらに、拠点において多様なニーズ(妊産婦・乳幼児、高齢者、障害者、外国人等)に対応できるように関係各課や団体等と連携した支援を行います。



老松中学校地域防災拠点訓練
(令和7年度)

(2) 区本部の防災機能強化(6,589千円)

① 震災・風水害対策の強化

災害シミュレーション訓練を実施し、発災時における区本部機能を強化するとともに、区社会福祉協議会と連携した災害ボランティアセンターの設置訓練等を実施します。さらに帰宅困難者対策として帰宅困難者一時滞在施設と連携した訓練を実施します。

- ・風水害対策訓練(5月15日実施 参加15人)
- ・震災対策訓練 (12月実施予定)
- ・ボランティアセンター設置訓練 (11月実施予定)
- ・帰宅困難者受け入れ訓練 (調整中)



震災対策本部訓練
(令和7年度)

② 災害医療対策の推進

区内医療機関・医療局等との通信訓練(隔月)やのぼり旗掲出訓練(年3回)、医療救護隊巡回訓練及び医療救護隊検討会、区本部訓練等を通じて、発災時の対応力を強化します。

また、災害時における医療体制について区民向けの啓発を進めるほか、携帯電話等災害時の通信手段の確保に取り組むとともに、災害医療連絡会議(3月予定)を通じて区内の関係機関・団体と連携し、課題や対応策について検討します。

(3) 自助・共助の推進(5,596千円)【拡充】

① 地盤品質判定士による崖地に関する無料相談会の実施

相談者の満足度が非常に高い、地盤品質判定士による崖地に関する無料相談会を引き続き実施し、民有地崖・擁壁の適切な維持管理の啓発を図ります。(6月28日・29日)

■参考：令和7年度実績

参加者：6月22日(6組)、23日(6組) 計12組

アンケート結果：大変参考になった8組・参考になった4組



崖地相談会の様子(令和7年度)

② 木造住宅密集地域における減災対策

感震ブレーカーの購入に係る補助事業を引き続き推進します。感震ブレーカーの認知度向上及び延焼火災対策としての有効性の理解促進を図るため、単位町内会への個別説明や、防災講話、イベントの機会を活用し、防災・危機管理統括本部等の関連部署と連携した啓発活動を行います。

また、老朽化した初期消火器具等の更新に係る補助事業を引き続き実施し、延焼火災対策を推進します。

■参考：過去3年度実績

【感震ブレーカー補助実績】

・令和5年度：15個(2団体)

・令和6年度：174個(4団体)

・令和7年度：116個(4団体)

【初期消火器具更新実績】

・令和5年度：2基(2団体)

・令和6年度：1基(1団体)

・令和7年度：1基(1団体)

③ 区民への防災・減災の普及啓発

新たな防災気象情報の運用開始等に伴い、西区防災マップの更新を行います。

また、地域住民への避難所種別や開設基準などの周知啓発を目的に、避難所の開設基準や開設状況を掲載した避難所案内板を小中学校(区内13校)に設置します。

さらに、消防、警察や企業等と連携した防災イベントの実施(10月)、赤ちゃん教室での防災講話(年9回)、子育て世帯への防災啓発グッズの配布(参考：令和7年度656個)、広報よこはま西区版で、新たな防災気象情報等の防災特集による啓発、次世代の防災の担い手となる小・中学生に向けたセミナーなど、あらゆる機会を捉え、幅広い世代に防災啓発を実施します。



防災イベントの様子(令和7年度)



子育て世帯への防災啓発グッズ(令和8年度)

サ 安心して暮らせるまちづくり推進事業

(地域振興課)

【予算額 4,611千円(前年度比 1,116千円増)】

交通安全と防犯を一体的に推進し、地域と区役所、警察署や関係団体と連携してだれもが安心して暮らせるまちづくりを進めます。啓発活動は交通安全と防犯で連携して実施することで効率的に強化するとともに、防犯の視点では、より多くの方が参加できるよう見守り活動を新たに推進します。

(1) 防犯意識啓発活動事業(1,600千円)【拡充】

① 防犯情報提供及び意識啓発【拡充】

子育て世代、単身高齢世帯ごとの特性に応じた犯罪被害事例や対処法などを情報発信し、区民の防犯意識を高めます。既存の広報に加え、区役所の強みを生かしたチャンネル(乳幼児健診やふれあい会等)での情報発信を新たに実施することで、広報・啓発を強化します。

■参考：令和7年度実績

- ①広報よこはま西区版(5・7・1月号)
- ②タウンニュース(12月25日号)
- ③市営バス内デジタルサイネージ(2～3月予定)

【掲出場所】浅間町営業所、滝頭営業所(各30台)

② 地域のつながりづくり促進【新規】

区民が愛犬との散歩時に、防犯パトロールの視点を持って地域を見守る”ボランティア活動「西区トコパト(トコトコパトロール)」”を広め、地域の安心感を醸成します。

(2) 交通安全推進事業(2,027千円)

交通ルールの周知や交通安全意識の向上を図るため、戸部警察署、戸部交通安全協会等と連携し、各季の交通安全運動のキャンペーンを実施します。基本的な交通ルールは継続して啓発するとともに、道路交通法改正など交通ルールの変更については積極的に情報発信を行います。

また、西区交通安全対策協議会功労者表彰を実施し、交通安全運動の推進に功労のあった個人又は団体に対し表彰を実施します。

■参考：キャンペーン 令和7年度実績

- ①新都市プラザ(4・9・12月)
- ②サミットストア横浜岡野店(6・7・9・12・2(予定)月)
- ③区役所前(4・9月)
- ④TVKハウジングプラザ横浜(10月)

■参考：広報 令和7年度実績

- ①広報よこはま西区版(4・12月号)
- ②タウンニュース(2月号予定)
- ③市営バス内デジタルサイネージ(2～3月予定)

【掲出場所】浅間町営業所、滝頭営業所(各30台)



▲横浜駅でのキャンペーンの様子



神奈川県交通安全対策協議会

▲自転車の違反へ反則金制度導入のチラシ

■参考：児童向け交通安全教室 令和7年度実績

①区内及び近隣小学校（全10校）

②親子交通安全教室（8月）

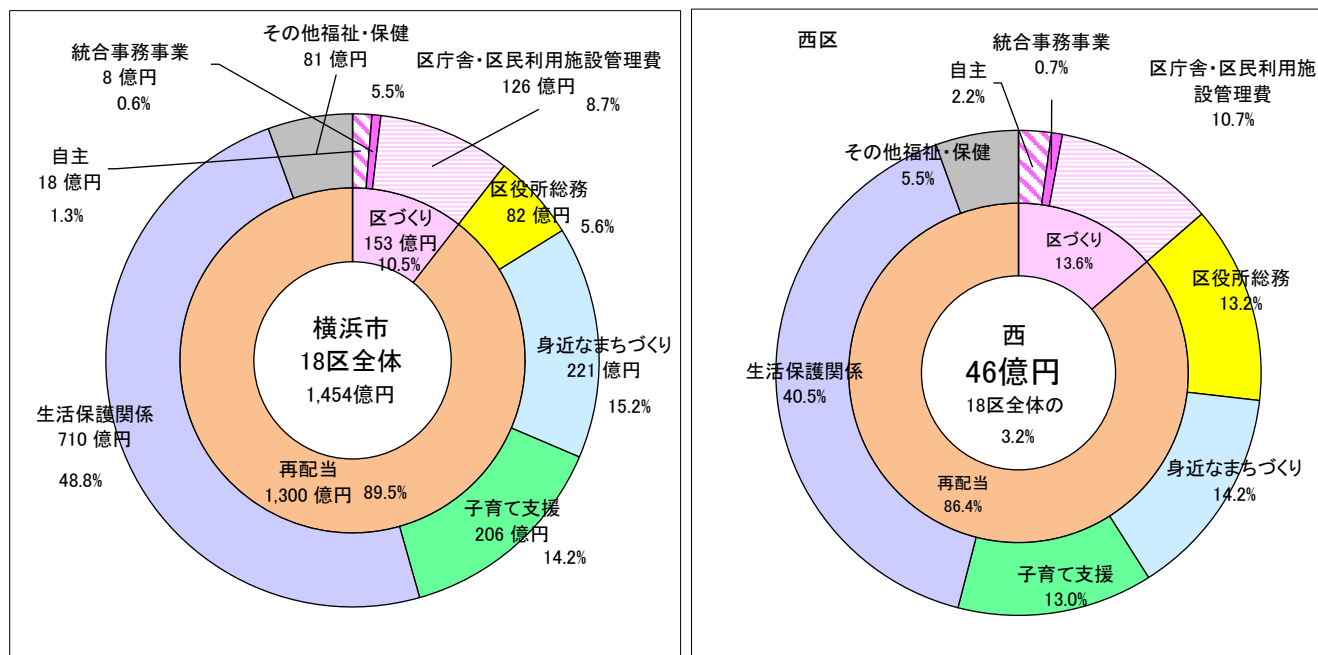
(3) スクールゾーン対策事業(984千円)

区内及び近隣小学校（全10校）のスクールゾーン対策協議会へ、スクールゾーン対策協議会活動助成金を交付し、支援を行います。

また、スクールゾーン対策協議会からの要望に基づき、「スクールゾーン」路面標示等の設置・維持管理を行います。

西 区に係る予算のすがた（令和8年度一般会計予算）

一般会計は、福祉、保健、道路・公園の維持管理など基礎的な行政サービスを行う会計で、主に市税（市民税及び固定資産税など）が使われています。横浜市の一般会計の規模は2兆993億円ですが、このうち区が執行している予算の規模（区の人件費を除く）は1,454億円です。この区が執行している予算に焦点をあてて、各区が主に税金を用いて、どれだけの事務事業を行っているかを示します。



注：各項目で四捨五入をしているため、合計額と一致しない場合があります。

西区の予算の特徴

令和8年度一般会計予算の中で、西区の人件費を除く区が執行している予算の規模は、約46億円となっており、18区全体の予算のおよ3.2%を占めています。これは、単純に区民1人当たりには換算すると、42,681円を支出していることになります。

そのうち、区が自律編成を行う「個性ある区づくり推進費」は約6億3千万円となっており、西区に係る予算の13.6%となっており、「個性ある区づくり推進費」の中でも「区庁舎・区民利用施設管理費」の割合が高くなっています。

区に係る予算の中でも大部分を占めているのは、局から予算の再配当を受け区が執行している「再配当予算」で、西区全体の86.4%に及びます。その中でも特に「生活保護」に係る予算は約19億円となっており、再配当予算の半分近くを占めています。また、保育所の運営費や放課後児童健全育成など「子育て支援」に係る経費は約6億円で西区全体の13%を占めています。「身近なまちづくり」として約7億円、西区全体の14%を占めている予算は、土木事務所が執行する予算で、身近な道路・公園等の管理運営に係る経費となっております。

このように西区の予算は、地域の課題やニーズに迅速かつきめ細やかに対応するための自主企画事業を始め、局からの予算の再配当を受け、局に代わり区民生活に密着した福祉や保健、子育て、身近なまちづくりなど、区民生活を支える重要な事務事業を担っています。

主 な 事 業 内 容

(単位:百万円)

分類	予算	説明
個性ある区づくり推進費	631	区の裁量や創意工夫に基づき自律編成する予算
自主企画事業費	101	地域の身近な課題やニーズに、迅速かつ、きめ細かく対応するための事業費です。
統合事務事業費	34	広報よこはま各区版の発行や各区市民相談、青少年指導員等の活動、生活保護及び戸籍・住民登録等に係る経費です。
区庁舎・区民利用施設管理費	497	区庁舎や地区センターなどの区民利用施設の管理運営に係る経費です。
再配当予算	3,996	局からの予算再配当を受け、区が執行している予算
区役所総務費	610	(総務部が執行する予算です。)
賦課徴収費	489	市税の課税・納税に関わる償還金や還付加算金、納税通知書の作成や発送するための経費などです。
広報費	14	「広報よこはま」や「県のたより」の配布謝金など、広報・広聴に係る経費です。
統計調査費	1	各種統計調査を行うための経費です。
地域活動推進費等	107	戸籍住民登録の事務費、各種選挙の実施、自治会・町内会組織助成などを行います。
身近なまちづくり	656	(土木事務所が執行する予算です。) *下水道事業を含む 766 百万円
道路修繕費等	538	道路の修繕や交通安全施設の整備・補修などを行います。
河川維持管理費等	1	準用河川の維持管理や親水水路の維持管理などを行います。
下水道事業(※参考)	(110)	既設管の修繕や共同排水設備の受託施工などを行います。
公園管理費等	116	身近な公園の維持管理や老朽化した公園施設の改良などを行います。
子育て支援	603	(福祉保健センター等が執行する予算です。)
民間保育所運営	0	一時保育や休日保育などを実施する民間保育所の運営費
市立保育所運営	38	保育が必要な乳児、幼児を保育する保育所の運営費
放課後児童健全育成	443	放課後キッズクラブ運営のための補助金等
地域子育て支援拠点等	121	地域子育て支援拠点、小児医療費助成等
生活保護等	1,872	(福祉保健センターが執行する予算です。)
生活保護	1,858	生活困窮者に対して、国の定める基準により、その困窮の程度に応じて扶助費を支給するための経費などです。(対象見込み世帯1480世帯)
生活困窮者自立支援	14	生活保護に至る前段階の生活困窮者に対して、国の定める基準に基づき、自立に向けた包括的な相談支援を実施するための経費などです。
福祉・保健	256	(福祉保健センターが執行する予算です。)
障害者福祉	65	身体障害児・者の身体機能を補う用具、日常生活を円滑にするための各種用具の給付・貸与を行うほか、障害状況等に合わせた住宅改造や自立支援機器の購入・取付に関わる経費の助成などを行います。
高齢者福祉	29	老人クラブへの助成や寝たきり高齢者等への日常生活用具の給付・貸与に関わる経費。介護予防型のデイサービス事業(介護保険対象外事業)などを行います。
地域ケアプラザの管理運営等	162	地域ケアプラザの管理運営経費や民生委員・児童委員の活動費の支給などを行います。
合 計	4,627	(※) 下 水 道 事 業 を 含 む 4,737 百万円

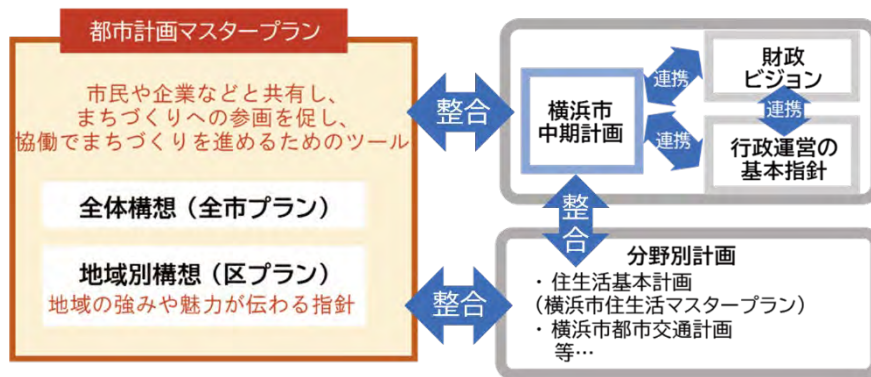
※各項目で四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

※年間を通じた概ねの再配当額を算出していますので、あくまでも区に係る予算の大まかな全体像を示した内容となっています。
(現時点では区への再配当額が未定のため、区へ再配当する予定額を18区均等配分したものや按分したものも含まれています。)

都市計画マスタープラン「地域別構想（区プラン）改定の方向性」

1 都市計画マスタープランとは

都市計画法第 18 条の 2 に規定されている「市町村の都市計画に関する基本的な方針」として位置付けられ、市域全体について、都市計画の基本的な方針を示す「全体構想（全市プラン）」と、地域ごとに具体的なまちづくりの方針を示す「地域別構想（区プラン）」で構成されます。



2 区プランの改定にあたって

横浜市をとりまく環境や社会情勢が変化し、まちづくりの方向性を見直す時期にあることから、昨年行われた全市プランの改定に合わせ、時代に即したプランとなるよう改定します。

今回の区プラン改定では、これまでの構成を見直し、市域を 4 エリアに分けた「エリア別方針」と、18 区ごとを対象とした「区別計画」の 2 部構成とします。

現在

●区プラン(18区)



改定後

●エリア別方針(4エリア)

エリアごとに都市計画の方針を示します。

都心及び周辺エリア 北部エリア 西部エリア 南部エリア

●区別計画(18区)

区ごとに区の特徴を活かしたまちづくりの方針や取組、将来像等を示します。

鶴見区 神奈川区 西区 中区 南区 港北区 緑区 青葉区 都筑区 保土ヶ谷区 旭区 戸塚区 泉区 瀬谷区 港南区 磯子区 金沢区 栄区

3 エリア別方針と区別計画の目的と役割

(1) エリア別方針

複数区にまたがる取組や地域課題を踏まえ、民間開発等を適切に誘導することを目的に、市街地整備事業や都市施設の整備などの都市計画に関する方針を示します。

(2) 区別計画

区ごとの現状や課題、緑・歴史といった特徴や魅力等を踏まえ、きめ細やかなまちづくりの取組を様々な主体とともに展開することを目指し、将来像や重点的な取組、都市計画に関する方針を示します。

4 エリア別方針について

(1) エリア設定の考え方

横浜市域を土地利用の特徴や、暮らしの実感に基づく鉄道沿線等の生活圏ごとの4エリアに分けてまちづくりの方向性を示します。(都心及び周辺、北部、西部、南部)

(2) 5つのテーマと2つの方針

4エリアごとに将来の都市像と、全市プランで示した市民生活や企業活動になじみのある「経済・暮らし・にぎわい・環境・安全安心」の5つのテーマ毎の都市づくりの方針を示し、その実現に向けた土地利用や都市交通の2つの方針を示します。

(3) 構成イメージ

- ①位置づけ・改定の背景・エリア別方針の目的と役割等、
- ②現況と課題、③将来像、
- ④都市づくりの5つのテーマと2つの方針、
- ⑤まちづくりの実現に向けて



5 区別計画について

区別計画の構成イメージは次のとおりです。

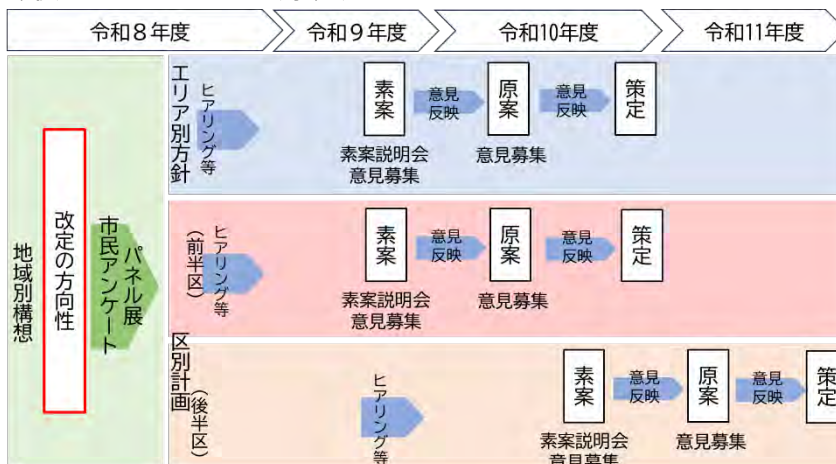
- ①概況(地勢、人口動態等)、②特徴・魅力、③現況・課題、④まちづくりの基本方針(区の将来像)、⑤区の特徴を生かしたまちづくり(まちづくりの重点的な取組・方針等)

6 改定プロセス

エリア別方針・区別計画ともに、素案・原案の意見募集や説明会に加え、素案作成前に意見聴取を実施し、その結果を踏まえて素案を作成していきます。

- ・全体 : 市民アンケート、パネル展
- ・エリア別方針 : 業界団体へのヒアリング等
- ・区別計画 : 各区でのヒアリングや意見募集等

7 今後のスケジュール(予定)



●前半区(8区) : 西区、金沢区、港北区、緑区、青葉区、都筑区、戸塚区、泉区

●後半区(10区) : 鶴見区、神奈川区、中区、南区、港南区、保土ケ谷区、旭区、磯子区、栄区、瀬谷区

GREEN×EXPO 2027に向けた横浜駅周辺での美化・環境向上の取組

横浜の玄関口である横浜駅は、GREEN×EXPO 2027（横浜グリーンエクスポ）の開催期間中には国内外から多くの方をお迎えします。横浜グリーンエクスポに向け、地域・企業・団体の皆さまと連携して横浜駅とその周辺の美化・環境向上に取り組むとともに、開催機運を醸成します。

ア 横浜駅西口の取組

(1)美化・環境向上の取組への支援

地域と事業者及び行政が協働で行っている「きれいなまちづくり検討会」の、横浜駅西口の美化に資する具体的な取組の実施に向け、必要な活動経費を支援し、美化環境向上を推進します。
（区政推進課）



横浜駅西口・幸川の手すり装飾
（令和8年3月）

(2)ごみ・ネズミ対策

スマートごみ箱の運営支援やポイ捨て抑制のための路上啓発シール貼付、清掃委託等により、ごみのないきれいなまちづくりを推進します。（地域振興課、資源循環局）
ネズミ対策として、飲食店への啓発チラシの配布、講習会などを実施します。（生活衛生課）
同対策のため、全6か所の土のうステーションをネズミが侵入できない仕様に再整備したほか、植栽帯に作られる巣穴対策を実施します。（土木事務所）



地域、事業者、団体と連携した「横浜駅をきれいに！キャンペーン」（令和8年5月）



再整備した土のうステーション
（令和8年3月）

(3)路上喫煙対策

令和8年4月に本市初の密閉型となる北幸喫煙所の供用を開始しました。また、3月には補助金を活用したテナント型民間喫煙所も開所しています。新しい喫煙所の開所に伴い、みなみ西口喫煙所は廃止しました。
引き続き、喫煙所の周知・維持管理を行うとともに、巡回指導やマナー向上の呼びかけ等を実施します。（資源循環局）



横浜駅北幸喫煙所
（令和8年4月供用開始）



テナント型民間喫煙所（南幸）
（令和8年3月供用開始）

(4)臭気対策

公共下水道の清掃や、民間地下排水槽の適切な管理指導を行うとともに、引き続き臭気対策の検討を行います。（西土木、生活衛生課）

(5)その他

落書き対策と横浜グリーンエクスポの機運醸成のため、横浜駅西口パルナード通りの地上機器に横浜グリーンエクスポのラッピングを実施したほか、商業施設と連携したPR行っています。



地上機器ラッピング（令和8年3月）



CeeU YokohamaでPRを実施（令和8年3月～）

また、様々なイベントで横浜グリーンエクスポをPRし、開催機運を醸成するとともに、横浜駅周辺のさらなるにぎわいにつなげます。



ヨコハマローズフェスタ（令和8年5月）



GREEN×EXPO 2027 COUNT DOWN FES
VOL.2（令和8年5月）

イ 横浜駅東口・東急東横線廃線跡地の取組

横浜駅東口では、横浜新都市センター株式会社（道路協力団体）が横浜グリーンエクスポに向け、歩道橋の欄干に“花”をテーマにした27名のアーティストの作品を展示しています。
東急東横線廃線跡地では落書き対策と合わせた機運醸成として、廃線跡地高架下のバス停留所後方の壁面3箇所を装飾を行いました。



横浜駅東口「ヨコハマフラワーアートロード」
（令和8年3月）

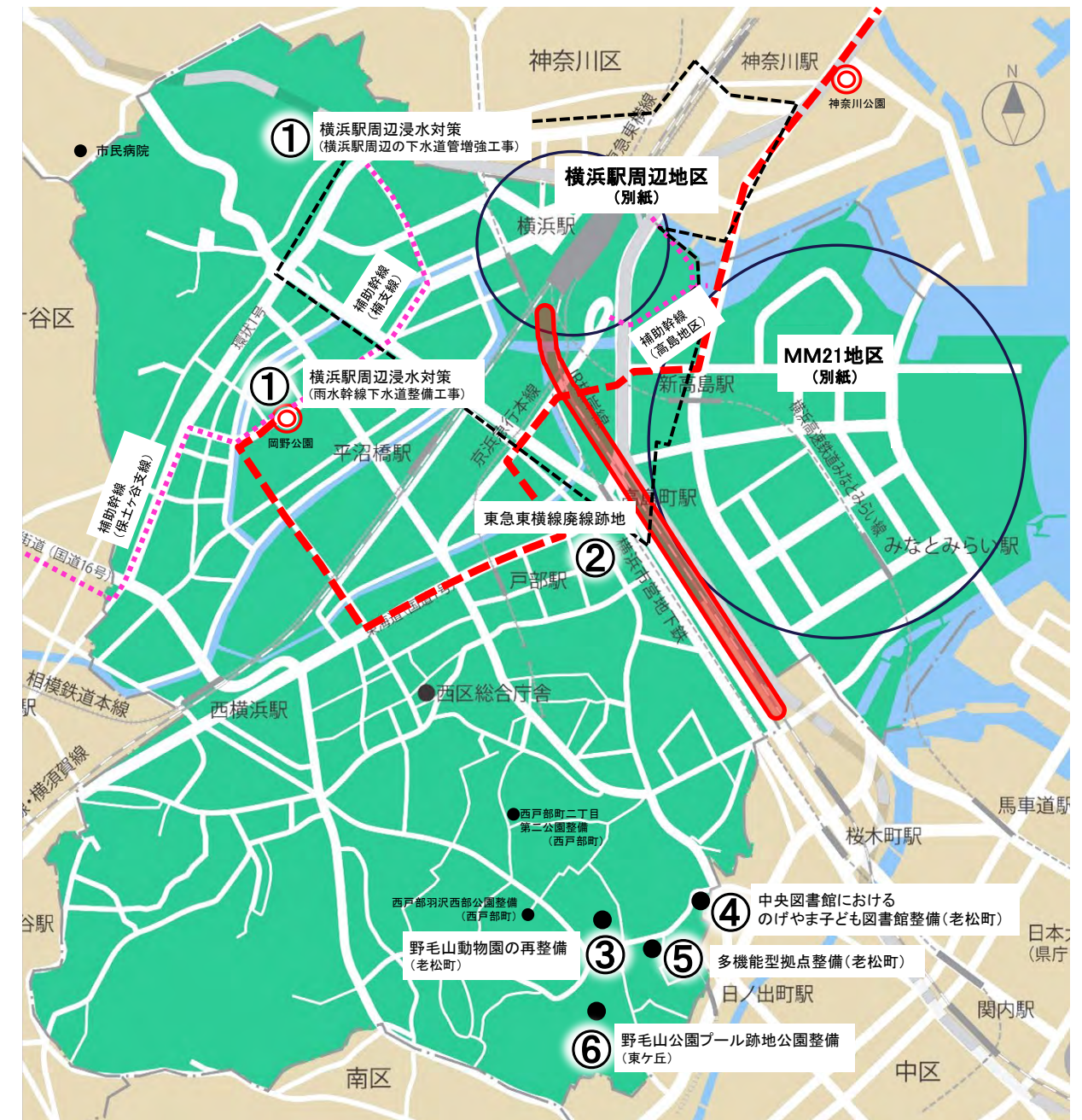


廃線跡地高架下の壁面を装飾
（令和8年3月）

【参考】西区における開発動向等

地図	概要
①	横浜駅周辺浸水対策 神奈川処理区エキサイトよこはま龍宮橋雨水幹線下水道整備工事業 横浜駅周辺では10年確率降雨(約60mm/1時間)に対する整備を行ってきましたが、さらなる治水安全度の向上に向け、30年確率降雨(82mm/1時間)に対応するため、新たに雨水幹線の整備を進めています。 岡野公園の野球場の一部に雨水幹線の立坑を設置する工事は令和7年8月に完成しました。令和5年12月着手した雨水幹線のシールド工事は、神奈川区の神奈川公園内のシールドマシンが発進するための立坑が完成し、令和8年1月から岡野公園に向けて掘削を開始しています。 また、楠ポンプ場と岡野公園を結ぶ楠支線について令和8年度の発注に向け設計を進めています。引き続き工事を進め、供用開始は令和12(2030)年度を予定しています。 また、新たに整備する雨水幹線に横浜駅周辺の約140ヘクタールに降った雨を取り込むため、地域の雨水を排水している下水道管の増強などの工事を実施していきます。令和7年度から実施している事前調査として管きょの測量及び他企業の地下埋設物等の位置を確認するための試掘工事を引き続き実施します。7年度末から本格的な下水道工事に着手しました。<u>令和8年度は、南幸二丁目及び楠町、浅間町二丁目</u>で工事を実施予定です。
②	東急東横線廃線跡地 桜木町駅西口広場付近から紅葉坂交差点までの区間については、令和元年7月に供用開始しています。引き続き紅葉坂交差点付近から横浜駅方面の整備に向けた検討を行っていきます。 8年度は、補強等が困難な浅山橋交差点から高島町交差点までの構造物の撤去工事を進めるとともに、魅力ある歩行者空間を目指し路線の基本計画の見直しを進めています。
③	野毛山動物園の再整備 野毛山動物園リニューアルの先行整備として、ふれあいコーナーへの屋根設置やなかよし広場の休憩所の建替え、園内トイレの改修等を行い、令和7年4月に供用開始しました。 引き続き、リニューアルプランに基づき、バリアフリーへの対応、老朽化対策、動物の飼育環境の改善など、更なる魅力向上に向けて取り組みます。<u>(令和11年度リニューアルオープン予定)</u>
④	中央図書館におけるのげやま子ども図書館整備 中央図書館1階を、親子連れや子どもたちが楽しく学べる、居心地の良い“子ども図書館”としてリニューアルします。また、誰もが使いやすい図書館となるようインクルーシブな環境づくりを進めます。 「おやこフロア」を令和7年4月にオープンしました。また、「こどもフロア」の整備を進め、<u>令和9年春にオープン予定です。</u>
⑤	多機能型拠点整備(旧青少年交流センター跡地) 西区老松町の旧青少年交流センター跡地を市内5館目の多機能型拠点整備用地とし、令和7年9月から整備運営法人の公募・選定を行いました。12月に法人が確定し、令和8年度から設計に着手します。<u>(令和10年度開所予定)</u>
⑥	野毛山公園プール跡地公園整備(土地面積 約6,200㎡) プールは老朽化のため平成21年に解体され、跡地利用の検討・調整を行ってきましたが、隣接する野毛山公園の拡張部として整備を行うことが決定しました。 引き続き、周辺のまちづくりの動向をふまえ検討を行います。

西区開発動向分布図



【参考】西区における開発動向等（横浜駅周辺地区）

横浜駅西口

中央西口駅前広場については、令和7年からタクシーと一般車の交錯を解消し、歩道舗装の更新等を行う工事に着手しました。令和7年5月には、「ヨコハマニシグチOPEN PARK」を開催し、芝生やベンチにより憩いと賑わいの空間を創出しました。横浜グリーンエクスポ開催に向けた駅前広場の完成を目指し、開催時に多くの来街者をお迎えする空間を創出します。

きた西口駅前広場については、令和7年度に高欄整備と植栽工事が完了しました。今後は舗装等の工事を進め、横浜クリーンエクスポ開催に向けた駅前広場の完成を目指します。

また、**みなみ西口のバルナード通り**にて、令和8年5月に賑わい創出イベントと連携した車両交通転換の社会実験など、ウォークアブルな空間創出に向けて取り組みを進めています。

横浜駅東口

横浜駅みなみ東口地区（ステーションオアシス地区の東側エリア）について、日本郵政不動産、JR東日本、京急電鉄を事業協力者として、令和6年に再開発準備組合が設立され、組合において早期事業化に向けて、事業計画などの検討を進めています。現在、環境アセスメント方法書の手続きを進めており、事業者による説明会や審査会での審議を進めています。また、**出島地区**について、権利者などによる東口臨海地区連絡協議会を令和6年に再開し、中長期の視点での将来像の検討を進めています。関連する施設として、駅前広場やデッキ、支線1号線等、東口全体の基盤整備計画について横浜市が中心となり検討を行っています。

令和7年11月から3か月間に渡り、東口駅前から水際線へとつながる重要な結節点である**はまテラス**において、「にぎわい創出プロジェクト」を実施し、芝生や光るファニチャ等により賑わいの空間を創出しました。

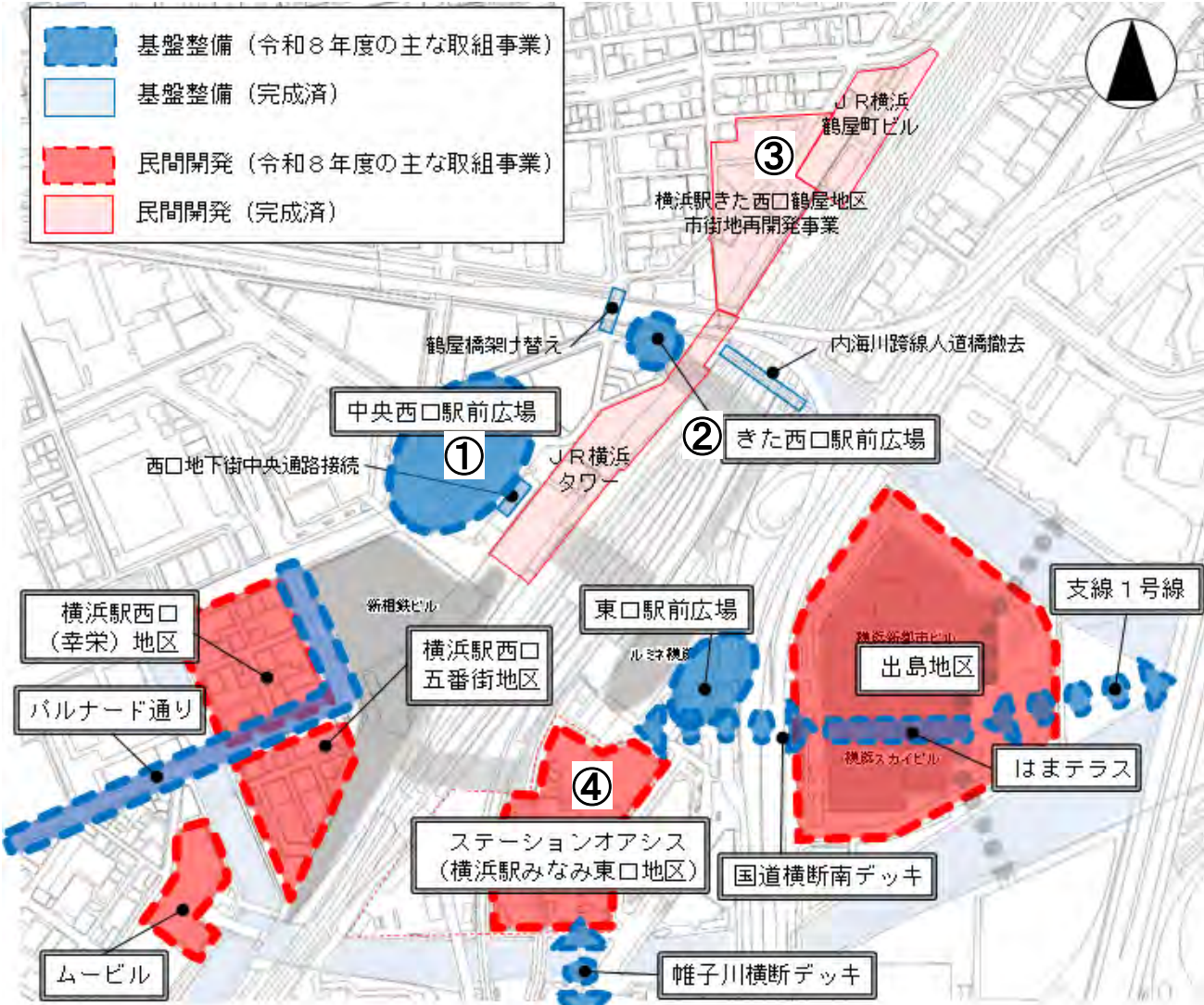
水際線への玄関口となる**東口駅前広場**について、来街者が集い憩える空間への再編の検討を進めています。

【進行中の事業】

①	中央西口駅前広場 令和元（2019）年7月 工事着手 令和5（2023）年1月 屋根完成 令和6（2024）年11月 車道舗装工事着手 令和7（2025）年6月 歩道舗装工事着手	
②	きた西口駅前広場 令和元（2019）年7月 工事着手 令和6（2024）年9月 屋根完成 令和7（2025）年11月 高欄完成 12月 植栽完成	
③	横浜駅きた西口鶴屋地区（再開発ビル） 階数・高さ：地上43階/地下2階、約178m 用途：住宅、ホテル、商業施設等 平成29（2017）年度 再開発組合設立 令和元（2019）年度 建築工事着工 令和5（2023）年度 再開発建物竣工 令和6（2024）年度 交通広場供用開始 令和7（2025）年度 事業完了	事業者：横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発組合
④	横浜駅みなみ東口地区（ステーションオアシス） 階数・高さ（予定）：地上45階/地下3階、約231m 用途（予定）：オフィス、商業、ホテル等 令和6（2024）年6月 市街地再開発準備組合設立 令和7（2025）年4月 環境アセスメント手続開始 令和10（2028）年度 工事着工（予定） 令和19（2037）年度 竣工（予定）	事業者：横浜駅みなみ東口地区市街地再開発準備組合

【その他の事業】

令和元（2019）年12月 西口地下街中央通路接続事業（馬の背解消）新設通路開通
令和2（2020）年3月 JR横浜タワー、JR横浜鶴屋町ビル竣工



▲令和7年5月 ヨコハマニシグチ OPEN PARK



▲令和7年11月～8年2月 はまテラス 賑わい創出プロジェクト



▲西口バルナード通り(2016年実施時)



▲東口駅前広場再編イメージパース

【参考】西区における開発動向等（みなとみらい21地区）

■建設中	
赤① 19の一部：臨港パークの整備 【先端部等の整備】 事業主体：港湾局 規模等：約9.8ha 施設：砂浜、親水護岸、藻場・浅場 歩行者デッキ 園路、休憩設備、照明等 スケジュール： 令和5（2023）年度 先端部工事着手 令和9（2027）年度 臨港パークとパシフィコ横浜を接続する歩行者デッキ 供用予定 令和11年（2029）年度 竣工予定	赤② 52：みなとみらい21中央地区52街区開発事業計画 事業主体：DKみなとみらい52街区特定目的会社 株式会社光優 規模等/高さ：地上29階、地下2階/約180m 敷地/延床面積：約11,800㎡/約115,000㎡ 施設：オフィス、オープンイノベーション スペース、ゲームアートミュージアム、店舗等、道路横断デッキ スケジュール：令和6（2024）年2月 着工 令和9（2027）年5月竣工予定
赤③ 60・61：MM60・61プロジェクト 事業主体：MM60・61特定目的会社※、 学校法人岩崎学園 ※(株)ケン・コーポレーション、SMFLみ らいパートナーズ(株)、鹿島建設(株) で構成 規模等/高さ：(東区画)地上26階、地下1階/約100m (西区画)地上13階、地下1階/約60m 敷地面積：約23,000㎡ 延床面積：(東区画)約131,000㎡ (西区画)約25,000㎡ 施設：(東区画)オフィス、ホテル、ミュージアム、 商業施設 (西区画)専門学校 スケジュール：令和8（2026）年1月着工 令和10（2028）年7月竣工予定（西 区画）、令和11（2029）年2月竣工 予定（東区画）	
■計画・竣工	
青① 62：（仮称）HARBOR EDGE PROJECT 事業主体：ベルジャヤ横浜ホスピタリティ アセット特定目的会社 規模等/高さ：地上14階、地下1階/約60m 敷地/延床面積：約22,000㎡/約88,500㎡ 施設：ホテル&ホテルコンドミニアム、 デジタル水族館、ミュージアム、 店舗等、道路横断デッキ スケジュール：令和7（2025）年7月準備工事着手 令和10（2028）年9月竣工予定	緑① 60・61の一部-みなとみらい大通り： 高島水際線デッキ整備 事業主体：都市整備局 規模等：幅員6.0m、橋長約130m 着工：令和3（2021）年10月 スケジュール：令和3（2021）年10月着工 令和7（2025）年3月暫定開通 令和8（2026）年度竣工予定

